

空白の期間について考える

～つなかりに変えるために何ができるのか～



社会福祉法人慈光会 ていれぎ荘
愛媛県若年性認知症支援コーディネーター 横田 麻弥



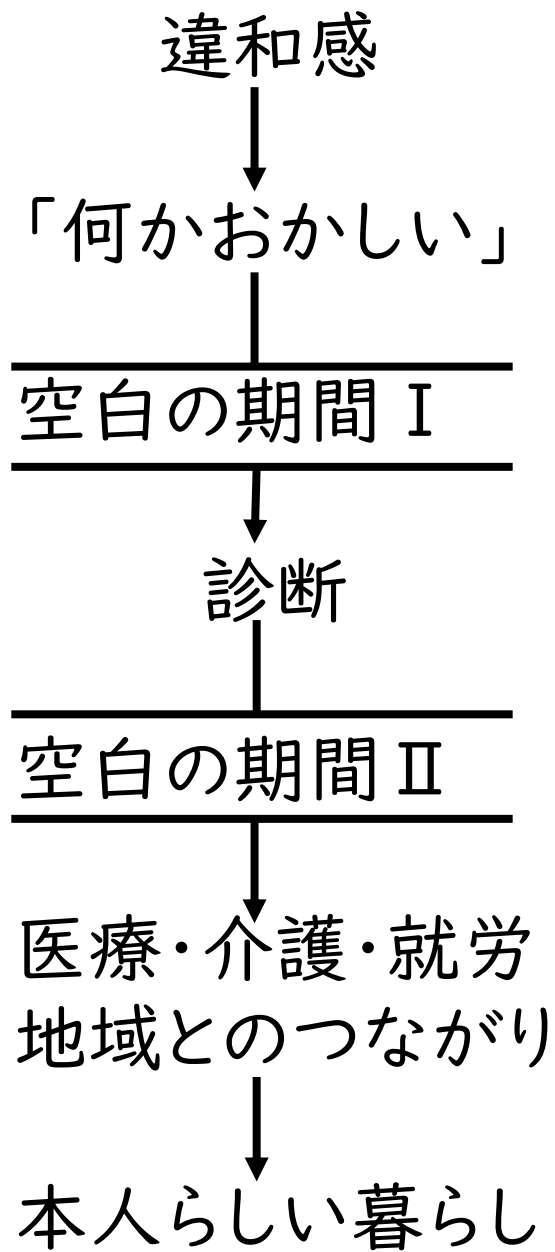
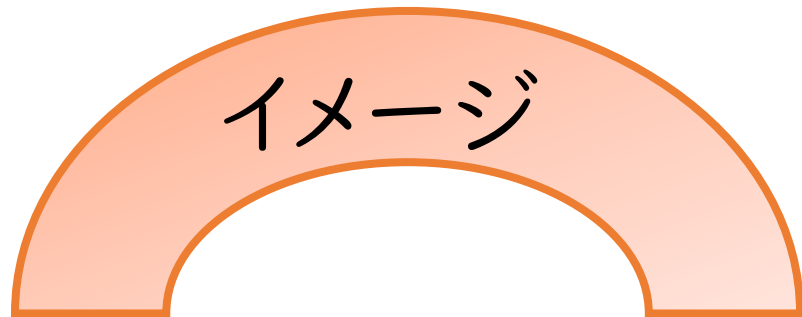
空白の期間とは

認知症基本法第3条（基本理念）第4項

「認知症の人の意向を十分に尊重しつつ、良質かつ適切な保険医療サービス及び福祉サービスが切れ目なく提供されること。」

認知症の症状や違和感を自覚してから、診断や必要な支援に繋がるまでの期間

厚生労働省 「専門職のための認知症の本人と家族が共に生きることを支える手引き」より要約



不安・戸惑い
孤独・孤立
自信喪失・混乱
疲弊等



愛媛県若年性認知症支援 コーディネーター事業

若年性認知症の

ケア、就労、生活、制度利用、医療 など
あらゆるご相談を、ワンストップでお受けし、必要に応じて
他の関連機関につなぎながら、一緒に考えて参ります。

「どうしよう」…とためらわず、まずは**お電話**ください！

070-3791-0342

【相談受付】

受付時間：9時～17時

(土日・祝祭日・年末年始除く)



コーディネーター2名
(医師、ケアマネジャー)で
動き始めます！

活動内容

①電話相談・個別支援・関係機関との連携



コーディネーターは常にiPhoneを携帯しており、一度ご連絡いただければ、その後は随時ご都合に合わせた対応を訪問も含めタイムリーにさせていただきます。各関係機関とも連携を図ります。

②若年性認知症に関する理解促進



元えひめ認知症希望大使・宮脇 勝氏

認知症に関する理解促進のために、認知症本人の声を聴いていただく機会を設けています。疾患別・就労継続・家族支援・地域共生等、様々なテーマを絞りセミナーを開催しています。

③本人・家族交流会 にじいろのかい



若年性認知症本人・家族が集い、自由に語って頂く場です。
同じ立場の人たちと出会うことで、想いを共感し、元気をもらえる場
になっています。**毎月1回**、開催しています。
(開催については社会福祉法人慈光会ていれぎ荘HPにて案内しています)

④人材育成（仲間づくり）



認知症に対して同じベクトルをもつ仲間を、職種を越えて増やす取り
組みをしています。認知症本人・家族・専門職・行政・市民の方々が
垣根なく一緒に様々な企画に参画して頂けるよう工夫しています。

⑤事例検討会



若年性認知症における課題について**毎月第2水曜日**に事例検討会を
行っています。事前に検討事例には該当者の了解を得たうえで、個人
が特定されないよう配慮し、多職種がオンラインで集って、個々の課
題に向き合い、認知症本人・家族へ還元できるよう知恵を絞っていま
す。



まずは、お気軽に

070-3791-0342

ご相談下さい。

社会福祉法人慈光会ていれぎ荘

〒791-0244

愛媛県松山市水泥町405番地1

jikoukai@eos.ocn.ne.jp

本事業は、愛媛県から委託を受け実施しております。





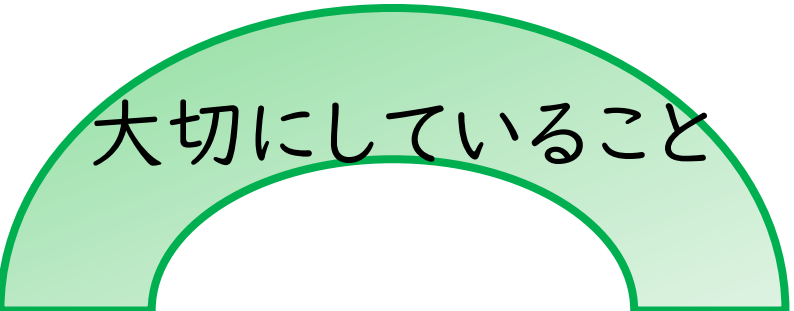
本人・家族の声

本人

人生の階段を転がり落ちているようで辛いです
今までできていたことができなくなり、自分が退化しているようで怖い
家にずっといることが苦痛で孤独感を感じる

家族

変化していく姿をみるのが辛い
なかなか周囲に相談できない
誰に相談すれば良いか・・・年齢も若いため行政にも相談しづらい



大切にしていること

本人・家族の思いを丁寧に聴くこと

寄り添う姿勢

一緒に考える応援者

ライフヒストリーを知る

自己開示

ストレングスをみつける

適時適切な距離感

多職種に繋ぐ・チームケア

支援が途切れないように伴走する

バイステックの7原則



受援力

困ったときに、一人で抱え込まず、周囲に助けを求めたり、支援を受け入れたりする力

「自立とは、依存先を増やすこと。」

熊谷 晋一郎氏

(東京大学先端科学研究センター教授)

伝えてみよう

困っとるけん、助けてや
一人で抱え込まんとおいでや

愛媛

高知

香川

徳島

困っとるけん、助けて
一人でせんでえんで
相談しーまい

困っとるけん、助けてだ
一人で抱え込まんてよ

困っちゅうき、助けてや
一人で抱えこまんてえいき



空白の期間を孤立の時間ではなく、繋がりが生れる時間へ・・・
雨が降る日があっても、誰かとつながれば、きっと虹は見えてくる